

食物アレルギー保護者説明会 質疑応答内容

番号	カテゴリー	質問・意見内容	回答
1	代替食について	卵アレルギーを持っていますが、子どもはえびが大好きなので、えびも除かれてしまうと抵抗があります。	安全性を最優先に考え、複雑な対応(個々で別々の対応など)をすると誤食誤配につながる可能性が高いため、本市が行う代替食対応は「えび・卵・かに・乳」の4品目を含まない1パターンのみ対応としました。
2	代替食について	代替食を希望すると通常給食を食べて良い日でもランチBOXになりますか？ 全部がお弁当になってしまうのはいかがでしょうかと思います。	誤食誤配の可能性を防ぐ観点から、代替食は年間を通して専用のランチBOXでの提供になり、単発的な対応は出来ません。 なお、アレルゲンのある日のみご家庭からお弁当を持参していただく方法(日別弁当対応)もありますので、対応方法は選択できます。
3	代替食について	えびがアレルゲンなので、給食に出てくる頻度は月に1・2回程度と少ないのですが、一年を通して代替食を選択しなければいけませんか？	代替食を選択した場合、一年間を通してアレルゲンの含まれない日も毎日専用のランチBOXでの対応となります。途中で中止することは可能ですが、該当するアレルゲンを含む日のみ代替食を選択するといった単発的な対応は誤食誤配などのおそれがあるため出来ません。
4	代替食について	卵・いかのアレルギーを持っています。 今回の代替食は希望できないのですが、もし「いか」がなければ希望できますか？	代替食は「えび・卵・かに・乳」の4品目以外のアレルゲンをお持ちの方は代替食を希望することが出来ません。 主治医による学校生活管理指導表に基づき対応を行います。
5	代替食選択の手段について	卵アレルギーを持っています。みんなと同じものを食べたいので、アレルゲンを含まない日でもランチBOXになるのは嫌です。代替食を希望しなくても良いですか？	本市の給食での食物アレルギー対応方法は、代替食対応の他に日別弁当対応、詳細献立表による情報提供の対応などがあり、対応方法は選択できますが、面談により対応を決定します。
6	おかわりに ついて	おかわりがないとありますが、小学校低学年の時と中学校に進学した際に多すぎたり少なすぎたりすることはありますか？ 年齢に合わせた量が配られますか？	年齢に合わせた量を専用のランチBOXに詰めます。 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学校と4段階に区分して規定量詰めます。おかわりが無い分、規定量より少し多めに詰める予定です。

食物アレルギー保護者説明会 質疑応答内容

番号	カテゴリー	質問・意見内容	回答
7	おかわりについて	子どもがおかわりを楽しみにしているのですが、おかわりが出来なく、毎日ランチBOXで他の子どもと区別されるのは少し抵抗を感じます。	誤食の可能性があります、安全性を最優先に考え、おかわりは出来ません。 おかわりがない分、規定量より少し多めに詰める予定です。 なお、代替食対応は条件に合った場合のみ希望することが可能となります。 アレルゲンの含まれる日のみご家庭からお弁当を持参していただく方法(日別弁当対応)もありますので、対応方法は選択できます。
8	代替食献立について	中学校も小学校のメニューになりますか？	代替食は小学校のメニューを基本として作るため、中学校の場合、他の生徒と違うメニューの可能性があります。
9	代替食の作る場所について	アレルゲンのない日は、アレルギー室以外で作ったものをお弁当に詰めますか？	献立にアレルゲンが含まれない日でも代替食は毎日アレルギー食専用室で調理し、専用のランチBOXに詰めます。
10	代替食費用について	代替食の費用は別途必要になりますか？	別途の費用は必要ありません。小学校250円、中学校310円と同額で対応します。
11	牛乳のみの代替食の有無について	乳・卵のアレルギーを持っています。 牛乳は毎日出るので、乳のみのアレルギーの場合、牛乳に代わるもののみを取りに行きますか？	牛乳のみの代替食は対応していません。代替食は「えび・卵・かに・乳」の4品目を含まない1パターンのみに対応です。乳のアレルギーをお持ちの児童生徒は、黄色い巾着に主食・主菜・汁物・お茶等の飲み物がすべてセットされたものが提供されます。 牛乳のみの代替食は対応していないため、牛乳のみを取りに行くことはありません。 乳のアレルギーをお持ちでない児童生徒は、白い巾着に主食・主菜・汁物がセットされ牛乳のみクラスで配布されます。

食物アレルギー保護者説明会 質疑応答内容

番号	カテゴリー	質問・意見内容	回答
12	今後の展望について	えび・卵・かに・乳の4品目以外の今後の展望について教えてください。	本市の食物アレルギー対応を行っている児童生徒の対応品目で多いアレルギーと、給食での使用頻度の高いアレルギーなどをもとに安全性を最優先に考え、アレルギー表示が義務付けられている特定原材料7品目の中から「えび・卵・かに・乳」の4品目に決定いたしました。 複数のアレルギーを有する児童生徒が多数いることや運用していく中で、状況が変化することも考えられるため、今後も必要な検討を行ってまいります。
13	未就学児への対応について	未就学児の方への代替食の説明は今後どのように対応しますか？	就学時健診の際に食物アレルギーをお持ちのご家庭に対して、それぞれ個別に説明を行っていく予定です。
14	小麦のアレルギーについて	落花生・そばは使わないことになりましたが、小麦アレルギーについては今後みんなと同じ給食を食べることは可能になるのでしょうか？ 現在の進行状況をお聞かせください。	小麦に関しては、粉が舞うことや調味料などに含まれていることが多く対応困難なため、本市では小麦のアレルギー対応は行いません。
15	アレルギー対応について	生の果物だけがアレルギーなのですが、缶詰品やジャムだけの時も1食分の弁当対応をしなければいけないですか？	体調によっては症状を発症する可能性があり、安全を第一に考え、学校給食では多段階対応は行いませんので、少量のものでも弁当対応となります。